

政策シート 政策名 **03 環境に配慮した資源循環型社会の構築**

予算費目名 **01 ごみ減量推進費**

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 **04 環境・エネルギー**

理想の姿 (30年後)	◆豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。
政策の柱 (10年後)	◆ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。 ◆再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

基本政策 01 環境と共生した持続可能な社会の実現

(2) 政策の概要(当年度(2022年度)実施内容)

・循環型都市の構築を目指し、生ごみやプラスチックごみの削減、雑がみなどの資源物の回収、事業系ごみの不当排出抑制の強化を図り、ごみの減量や資源化を推進する。
 ・市民と連携してごみの減量を推進するため、環境美化推進員等を対象に研修会の開催や小学校での「子どもモットイナイ大作戦」の実施を行うほか、SNSの活用によるPR活動の充実を行う。
 ・ごみ減量施策の一つとして、家庭ごみ有料化の検討を進める。
 ・大規模災害に備え、速やかに災害廃棄物への対応ができるよう災害廃棄物処理計画等の見直しや仮置場等の検討・整備を進める。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑫生産・消費							
--------	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	135,200	133,871	133,861	136,954		
決算	117,323	110,055	104,812			
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	96,700	96,700	110,700	110,700		
年間経費(予算又は決算+A+B)	214,023	206,755	215,512	247,654		

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
一人1日あたりのごみ排出量	g	目標	863	860	857	-	-	-
		実績	864	832	820	-	-	-
ごみ総排出量 <small>※一般廃棄物処理基本計画「ごみ処理基本計画編(改定版)」目標値</small>	t	目標	-	-	-	214,146	210,219	206,352
		実績	221,879	214,378	210,948			
リサイクル率	%	目標	24.6	26	27	-	-	-
		実績	18.9	18.1	17.9	-	-	-
資源化率 <small>※一般廃棄物処理基本計画「ごみ処理基本計画編(改定版)」目標値</small>	%	目標	-	-	-	27.8	28.2	28.6
		実績	23.5	24.7	27.3			

4 前年度(2021年度)政策評価

(1) 前年度(2021年度)実施内容

・自治会や小学校を対象とした出前講座等を開催したほか、積極的にホームページやSNS等デジタル媒体を活用した各種イベントでのPR活動やごみ減量に関連する事業を行った。
 ・持続可能な社会の担い手育成のため、小学生を対象とした子どもモットイナイ大作戦の実施や小学4年生に社会科副読本を配布しごみ減量教育を推進した。
 ・資源物の回収を促進するため、古紙類・古着類等を回収した団体に対して資源物集団回収協力金の交付や区役所・協働センター等で小型家電・廃食用油等の資源物を回収した。また、家庭系生ごみの排出量を減らすため、堆肥化容器の無料配布や生ごみ処理機の購入費補助を行った。
 ・「浜松市一般廃棄物処理基本計画」の改定を行った。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの減量化、リサイクルへの取組みを推進するために自治会や小学校を対象に説明会を実施した。各種イベントやPR活動について、オンライン配信やホームページなどを活用しごみ減量やリサイクルについて幅広い世代へ周知啓発した。若年世代をターゲットにInstagramを活用した参加型イベント「はままつエコロシビInstagramハッシュタグキャンペーン」を実施した。 ・子どもモットイナイ大作戦では、小学生が夏休み期間中に「食事の食べきり」や「雑がみ・プラごみ集め」「生ごみの水切り」を体験することで、食品ロス等への理解を深め、ごみを減らし、環境にやさしい暮らしを学んだ。また、小学4年生に社会科副読本を配布しごみの現状や3Rについて学んだ。 ・区役所、協働センター等で古紙古着、使用済小型家電、廃食用油など資源物回収を実施した。行政・民間の資源物の回収拠点について地図情報システムを活用しホームページで周知した。また、広報はままつやHPで広く制度を周知し堆肥化容器の無料配布や生ごみ処理機の購入費補助を実施した。 ・資源化率の指標については2022年6月下旬頃確定する。 	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	ごみ減量・リサイクル推進事業	○	○	○		149,503	113,383	4.8			0.9	
2	ごみ減量推進運営経費	—	—	—		98,151	23,571	10.1	1.0		0.1	
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						247,654	136,954	14.9	1.0		1.0	

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 ごみ減量・リサイクル推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市民との協働により、家庭から排出されるごみの減量施策を推進し、持続可能な資源循環型社会の構築を目指す。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1980	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	Ⅲ-5(2)ウ						
重点戦略	<input type="radio"/>	(戦略項目)	129	130	131				

(4) 関連するSDGsのゴール

⑫生産・消費									
事業とゴールの関連性	ごみ減量、リサイクル事業を推進し、資源保護や地球環境保全の促進及び循環型社会の形成を図る。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	126,437	120,192	121,198	113,383		
	決算	109,806	103,288	95,783			
	国・県支出	1,445	1,748	2,070	2,084		
	市債						
	その他	45,000	44,000	16,000			
	一般財源	63,361	57,540	77,713	111,299		
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	36,820	36,120	36,120	36,120		
人工	正規	4.9	4.8	4.8	4.8		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.9	0.9	0.9	0.9		
年間経費(予算又は決算+A+B)		146,626	139,408	131,903	149,503		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本^{27.3})

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
ごみの総排出量(t)		130	目標	248,724	246,378	244,733	243,071	-	-
			実績	253,821	243,046	238,417			
ごみ総排出量(t) <small>※一般廃棄物処理基本計画「ごみ処理基本計画編(改定版)」目標値</small>		-	目標	-	-	-	214,146	210,219	206,352
			実績	221,879	214,378	210,948			
一人1日あたりのごみ排出量(g)		-	目標	863	860	857	-	-	-
			実績	864	832	820			
リサイクル率(%)		-	目標	24.6	25.7	26.8	-	-	-
			実績	18.9	18.1	17.9			
資源化率(%) <small>※一般廃棄物処理基本計画「ごみ処理基本計画編(改定版)」目標値</small>		-	目標	-	-	-	27.8	28.2	28.6
			実績	23.5	24.7	27.3			

(管理番号)										
2022年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)	
	04	01	03	01	001505000	01	ごみ減量推進課	鈴木 浩之	2022.7.1	
一人1日あたりの家庭ごみ排出量 (g)	129	目標	420	350	350	350	350	350	350	350
		実績	495	504	492					
学校連携事業 参加児童数(%)	131	目標	45	48	50	52	53	55		
		実績	41.11	33.76	37.66					

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

【2019年-2022年重点戦略項目 No.129、130、131】

家庭から排出されるもえるごみの多くを占める「生ごみ」「紙ごみ」の減量を推進し、一人1日当たりの家庭系ごみ排出量が350g/人・日を目指した。

○生ごみの減量

・堆肥化容器の無料配布とともに家庭用生ごみ処理機購入費の補助金交付や生ごみの水切り・ひとしぼりの実践を呼びかけて、家庭系生ごみの減量を図った。

○雑がみの分別

・区役所・協働センター74箇所等で雑がみの回収をした。

・雑がみの分別リサイクル推進のため、希望する幼稚園・小学校・中学校に雑がみ分別袋の配布や転入者に雑がみ分別袋を配布した。

○食品ロスの削減

・YouTubeでのエコレシピ料理動画の配信やSNSを活用したはままつエコレシピInstagramハッシュタグキャンペーンを実施し、食品ロスの削減を図った。

・ホテル・飲食店等へのポスター配付等を通して、食品ロス削減を呼びかけ、食品ロス削減協力店として登録した。

・リユース容器や利用者が持参したマイボトルやマイカップでの商品提供などに取り組む事業者を「脱プラスチック推進協力事業者」として登録する制度を設け、広く周知し、市民や他の事業者の意識啓発を図った。

○ごみ減量教育の推進

・小学校を対象に「こどもモットイナイ大作戦」を実施し、「食事の食べきり」や「雑がみ・プラごみ集め」「生ごみの水切り」を体験し、環境にやさしい暮らしを学んだ。また、小学4年生に社会科副読本を配布しごみ減量教育を推進した。

○その他

・環境美化推進員区会議及び研修会等を開催して、環境美化推進員や自治会と連携してごみ減量啓発を実施した。

・HPに動画を公開し、ごみ減量の必要性や家庭ごみ有料化の検討状況について市民への周知を行った。

・自治会や市民を対象にごみ減量に関する説明会やイベントを通じて、ごみ減量の取組実践を呼びかけた。

5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

・生ごみの減量のため生ごみの水切り・ひとしぼりの実践呼びかけを行い、「やらまいか！水切りプレス」を862個配布した。また、堆肥化容器を474世帯に配布し、家庭用生ごみ処理機購入費の補助金を159世帯に交付した。

・雑がみのリサイクル推進のため、区役所・協働センターで74箇所等で雑がみを回収した。また、雑がみ分別袋を幼稚園・小学校・中学校76園校に24,780枚、転入者に4,700枚配布した。

・食品ロスの削減推進のためYouTubeでのエコレシピ料理動画の配信やSNSを活用したはままつエコレシピInstagramハッシュタグキャンペーンを実施しキャンペーンでは650件の投稿があった。

・環境美化推進員を対象に区会議及び研修会を開催して、環境美化推進員と連携してごみ減量の啓発を実施した。(区会議:1会場・受講者132人、研修会467名)

・ごみ減量教育の推進のため、小学生を対象に「こどもモットイナイ作戦」を開催し15,861名が参加した。

・自治会や学校等を対象として説明会を15回(619人)開催してごみ減量の取組実践を呼びかけた。

・資源化率の指標については2022年6月下旬ごろ確定する。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

・2019年10月に食品ロス削減の推進に関する法律が施行され、食品ロス対策への具体的な取組が求められている。

・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、飲食業界へ多大な影響が出ており、事業系ごみの排出量減にもつながっている一方、家庭系ごみの排出量は横ばいが続いている。

・事業実施においても引き続き感染症対策を考慮し実施する必要がある。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・SNSを活用した参加型のイベント「はままつエコレシピInstagramハッシュタグキャンペーン」を実施し、食品ロス削減の意識啓発を行った。

・2022年3月に市民及び事業者のプラスチックの排出抑制とプラスチックの資源循環の意識醸成を目的とする「脱プラスチック推進協力事業者」制度を新たに創設した。

・コロナ禍による事業者への影響を考慮し、より実効性のある取組が求められている。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・すべての事業にデジタルツールの利用が可能か検討し、広く市民に対し情報を発信していく。

・生ごみ処理機購入費補助事業の予算を拡充し家庭系生ごみの減量を図る。

・2022年3月に創設した「脱プラスチック推進協力事業者」登録事業者数を増やすなど、事業者との連携を進める。

7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

【2019年-2022年重点戦略項目 No.129、130、131】

2020年度までに一人1日当たりの家庭系ごみ排出量が最も少ない政令指定都市を目指して、ごみ減量天下取り大作戦を実施する。(ごみ減量天下取り大作戦自体は2020年度で終了したが、以下の取組みで指標の達成を目指す。)

■家庭系ごみの減量及びリサイクルの推進

- ・堆肥化容器の無料配布を継続するとともに申請希望者が多い生ごみ処理機購入費補助事業の予算を拡充し家庭系生ごみの減量を図る。
- ・家庭系ごみの減量施策の一つとして家庭ごみ有料化の検討を進める。
- ・資源物集団回収団体の活動情報をホームページでの掲載や資源物の拠点回収の回収場所や品目などの情報を地図情報サイトやリサイクル拠点マップで情報発信し古紙・古着等のリサイクルを図る。
- ・小学校での「こどもモッタイナイ大作戦」の実施や小学4年生に社会科副読本を配布しごみ減量教育の推進を図る。
- ・サステナブルな暮らしや食品ロス削減のためのエコレシピを実践してもらうSNSを活用したキャンペーンを実施し、家庭での3Rを推進する。
- ・自治会から選出された環境美化推進員の育成と、連携によるごみ減量啓発を実施する。
- ・「脱プラスチック推進協力事業者」登録事業者の募集を進めるとともに、「食品ロス削減協力店」向け取組の検討を進める。

■その他

- ・自治会や市民を対象にごみ減量に関する説明会等の開催やSNSを活用した啓発活動を行い、ごみ減量の取組実践及びプラスチックごみ削減について呼びかける。

補助シート(重点戦略事業工程表)

(事業名) 01 ごみ減量・リサイクル推進事業

◇【2019～2022】事業工程表(No.: 重点戦略項目No)

No.	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
129	○ごみ減量天下取り大作戦の展開 ・自治会や環境美化推進員との協働による家庭系ごみの減量推進事業の実施	○ごみ減量天下取り大作戦の展開 ・自治会や環境美化推進員との協働による家庭系ごみの減量推進事業の実施	・自治会や環境美化推進員との協働による家庭系ごみの減量推進事業の実施 ・家庭ごみ有料化の検討	・自治会や環境美化推進員との協働による家庭系ごみの減量推進事業の実施 ・家庭ごみ有料化の検討
130	○ごみ減量天下取り大作戦の展開 ・家庭系ごみの減量推進の実施 ・事業系古紙搬入規制 ・市民と事業者が連携して取り組む食品ロス対策の検討、実施	○ごみ減量天下取り大作戦の展開 ・家庭系ごみの減量推進の実施 ・事業系古紙搬入規制 ・市民と事業者が連携して取り組む食品ロス対策の実施	・家庭系ごみの減量推進の実施 ・事業系古紙搬入規制 ・市民と事業者が連携して取り組む食品ロス対策の実施 ・家庭ごみ有料化の検討	・家庭系ごみの減量推進の実施 ・事業系古紙搬入規制 ・市民と事業者が連携して取り組む食品ロス対策の実施 ・家庭ごみ有料化の検討
131	○ごみ減量天下取り大作戦の展開 ・水切りの推進や食品ロスを削減するための学校連携事業の実施	○ごみ減量天下取り大作戦の展開 ・水切りの推進や食品ロスを削減するための学校連携事業の実施	・ごみ減量や3R推進のための学校連携事業の実施 ・脱プラスチック施策の実施	・ごみ減量や3R推進のための学校連携事業の実施 ・脱プラスチック施策の実施

事業シート (事業名) 02 ごみ減量推進運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

・循環型社会形成のための推進計画や一般廃棄物処理に関する処理計画及び許可事務等を通して全体的な調整を行う。
 ・ごみ減量推進費の業務を円滑に運営する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1987	—	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑫生産・消費									
事業とゴールの関連性	・集積所・パトロールなどを通じて、集積所に不当排出される事業系ごみの適正処理について直接周知する。 ・清掃工場で、産業廃棄物や搬入不適物が混入されていないか展開検査を継続実施する。 ・事業系古紙の搬入規制を継続実施する。 ・生活環境改善活動功労者表彰制度により、ごみの減量・リサイクルの推進やごみの分別収集への協力等の活動を行った団体及び個人に対して表彰を行い、ごみの発生防止、削減、再生利用を啓発する。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	8,763	13,679	12,663	23,571		
	決算	7,517	6,767	9,029			
	国・県支出				1,889		
	市債						
	その他	490	160	480	160		
	一般財源 一般会計繰入金	7,027	6,607	8,549	21,522		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		59,880	60,580	74,580	74,580		
人工	正規	8.0	8.1	10.1	10.1		
	再任用(31h)	1.0	1.0	1.0	1.0		
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.1	0.1	0.1	0.1		
年間経費(予算又は決算+A+B)		67,397	67,347	83,609	98,151		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、一般廃棄物処理業の許可及び一般廃棄物再生利用業の指定等に係る事務を行った。
- ・浜松市廃棄物の減量及び資源化並びに適正処理等に関する条例に基づき、大規模建築物所有事業者に対する計画書の提出義務付けや立入検査等の事務を行った。
- ・事業系一般廃棄物の減量・適正処理や不当排出防止に関する啓発チラシを作成し、市内全事業者に対して送付した。
- ・生活環境改善活動団体及び功労者に対する表彰制度に基づき、優良な団体及び個人に対して表彰を行った。
- ・一般廃棄物処理基本計画の改定作業を実施した。
- ・大規模災害が発災した場合に備え、関係団体と意見交換を実施したが、合同での研修会はコロナ禍により中止となった。
- ・浜松市清掃公社、全国都市清掃会議、大都市清掃事業協議会、静岡県都市清掃協議会等との連絡調整を行った。



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・一般廃棄物処理業許可事務(更新許可:48件)、一般廃棄物再生利用業指定事務(新規指定:1件 延長指定:3件)を行った。
- ・大規模建築物から排出される廃棄物の現状把握と減量・資源化・適正処理の意識を高めてもらうため、同所有者者に対して関係計画書の提出と管理責任者の選任を求めると同時に、立入検査を実施した。
(計画書提出数:376件、立入件数:31件)
- ・事業系一般廃棄物の減量・適正処理や不当排出防止に関する啓発チラシを作成し、市内全事業者に対して送付した。(28,233件)
- ・生活環境改善活動団体及び功労者を表彰した。(受賞者:4団体・28個人)
- ・一般廃棄物処理基本計画の見直しに関し浜松市環境審議会での審議、パブリック・コメントの実施等を行った。
- ・災害廃棄物処理に係る研修会への参加(計11回)と庁内研修会(計2回)を実施したが関係団体との合同研修会はコロナ禍により中止となった。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・コロナ禍で事業を実施するにあたって、実施方法等を検討する必要があるがあった。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・事業系ごみの減量・適正処理や不当排出防止に関する啓発チラシを作成し、市内全事業者に対して送付した。
- ・一般廃棄物処理業の許可及び一般廃棄物再生利用業の指定等に係る事務を行った。
- ・大規模建築物所有事業者に対する計画書の提出義務付けや立入検査等の事務を行った。
- ・一般廃棄物処理基本計画の見直しに関し浜松市環境審議会での審議、パブリック・コメントの実施等を行った。
- ・家庭系ごみ、事業系ごみについて、現状把握とごみ減量化策の検討のため、委託により本市のごみ質分析調査を行った。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・事業系ごみの集積所への不当排出事案については、チラシ送付からより踏み込んだ、実効性のある取組を行う。
- ・家庭系ごみ、事業系ごみのごみ質分析調査について、精度を高めて実施する。
- ・「浜松市一般廃棄物処理基本計画」の計画内容を理解していただけるよう、市民に計画改定を周知する。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- ・不当排出事案が多く見られる集積所を中心に、委託業務による集積所パトロールを実施する。
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、一般廃棄物処理業の許可及び一般廃棄物再生利用業の指定等に係る事務を行う。
- ・浜松市廃棄物の減量及び資源化並びに適正処理等に関する条例に基づき、大規模建築物所有事業者に対する計画書の提出義務付けや立入検査等の事務を行う。
- ・生活環境改善活動団体及び功労者に対する表彰制度に基づき、優良な団体及び個人に対して表彰を行う。
- ・災害時の迅速な対応が行えるよう、廃棄物処理部のタイムラインの修正に伴うマニュアルの見直し及び、関連団体との意見交換を行う。
- ・家庭系ごみ、事業系ごみについて、現状把握とごみ減量化策の検討のため、本市のごみ質分析調査を行う。
- ・ごみ減量施策の一つとして家庭ごみ有料化の検討を進める。
- ・浜松市清掃公社、全国都市清掃会議、大都市清掃事業協議会、静岡県都市清掃協議会等との連絡調整を行う。

政策シート 政策名 03 環境に配慮した資源循環型社会の構築

予算費目名 04 南清掃事業所費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 04 環境・エネルギー

理想の姿 (30年後) ◆豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

政策の柱 (10年後) ◆ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
 ◆再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

基本政策 01 環境と共生した持続可能な社会の実現

(2) 政策の概要(当年度(2022年度)実施内容)

・一般廃棄物処理基本計画に基づき、市内で発生する一般廃棄物(ごみ)の減量、分別収集を徹底し、衛生的に処理する。
 ・不法投棄、不当排出対策、集積所の管理など、安全で衛生的な住環境を維持するため、環境美化活動を推進する。

(3) 関連するSDGsのゴール

①都市	⑫生産・消費							
-----	--------	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	283,723	286,774	299,766	297,323		
決算	280,528	284,776	297,029			
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	195,700	206,300	205,500	197,000		
年間経費(予算又は決算+A+B)	476,228	491,076	502,529	494,323		

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
ごみ収集委託事業所への訪問及び確認(ごみ収集事業)	回以上	目標	-	4	4	4	4	4
		実績	1	4	4			
		目標						
		実績						

4 前年度(2021年度)政策評価

(1) 前年度(2021年度)実施内容

・一般廃棄物処理基本計画に基づき、市内で発生する一般廃棄物(ごみ)の減量、分別収集を徹底し、衛生的に処理する。
 ・不法投棄、不当排出対策、集積所の管理など、安全で衛生的な住環境を維持するため、環境美化活動を推進する。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り
 ・不法投棄、不当排出廃棄物のパトロールを毎日実施するとともに、自治会等とも連携して環境美化活動に努めたことにより、地域の住環境を維持することができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	ごみ収集事業	—	—	—		494,323	297,323	23.8	3.0		7.0	
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						494,323	297,323	23.8	3.0		7.0	

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 ごみ収集事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

家庭から排出されるごみを安全、衛生的に収集運搬を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1964年 (昭和39年)	-	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市	⑫生産・消費								
事業とゴールの 関連性	環境上適正な収集廃棄物の管理を実施する。再生利用可能な収集廃棄物の管理を実施する。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	283,723	286,774	299,766	297,323		
	決算	280,528	284,776	297,029			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	280,528	284,776	297,029	297,323		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		195,700	206,300	205,500	197,000		
人工	正規	23.9	24.9	24.9	23.8		
	再任用(31h)	4.0	5.0	4.0	3.0		
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	5.0	5.0	6.0	7.0		
年間経費(予算又は決算+A+B)		476,228	491,076	502,529	494,323		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
ごみ収集委託事業所への訪問及び 確認(ごみ収集事業)(回以上)			目標	-	4	4	4	4	4
			実績	1	4	4			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

2022年度

分野

04

基本政策

01

政策

03

予算費目

04

所属コード

001541000

事業

01

(担当課)

南清掃事業所

(責任者)

鈴木 章良

(基準日)

2022.7.1

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- ・家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託の管理を行う。(南区)
- ・不法投棄、不当排出廃棄物のパトロール及び収集運搬を行う。

5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・受託業者の事業所へ年4回立ち入り調査を実施し、業者責任者と面談を行い業務の状況を確認することで、業務が適正に行われていることを確認した。
- ・不法投棄、不当排出廃棄物のパトロールを毎日行い、住環境の環境美化に努めることができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・受託業者への立ち入り調査では、業務状況の確認とそれに伴う適切な指導を行うことで受託業務の質の確保に努めることができた。
- ・ごみ分別の啓発、指導や不法投棄、不当排出パトロールを行うとともに、環境美化活動団体等との連携を図り、衛生的な地域環境を維持していくための環境美化活動を推進することができた。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・受託業者の管理を適正に行う。
- ・不当排出パトロール活動マニュアルに従い効率的に業務を行う。

7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- ・家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託の管理を行う。(南区)
- ・不法投棄、不当排出廃棄物のパトロール及び収集運搬を行う。

政策シート 政策名 03 環境に配慮した資源循環型社会の構築

予算費目名 06 平和清掃事業所費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 04 環境・エネルギー

理想の姿 (30年後)	◆豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。
政策の柱 (10年後)	◆ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。 ◆再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

基本政策 01 環境と共生した持続可能な社会の実現

(2) 政策の概要(当年度(2022年度)実施内容)

○ごみ関連機関と連携を図りながら、一般廃棄物(ごみ)の分別の徹底と減量を推進する。
○不法投棄、不当排出対策、集積所の管理など、安全で衛生的な住環境を維持するため、環境美化活動を推進する。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑫生産・消費								
--------	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	641,378	651,202	685,141	691,978		
決算	641,114	646,909	684,692			
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	107,800	100,800	100,800	100,800		
年間経費(予算又は決算+A+B)	748,914	747,709	785,492	792,778		

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
委託事業所への訪問及び確認(ごみ収集事業)	回以上	目標	—	4	4	4	4	4
		実績	—	4	4			
委託事業所への訪問及び確認(資源物処理事業)	回以上	目標	—	4	4	4	4	4
		実績	—	4	4			
		目標						
		実績						

4 前年度(2021年度)政策評価

(1) 前年度(2021年度)実施内容

○事業の連携強化のため、各委託事業所へ担当者が四半期ごと、所長は年1回訪問した。
○ごみ関連機関と連携を図りながら、一般廃棄物(ごみ)の分別の徹底と減量を推進する。
○不法投棄、不当排出対策、集積所の管理など、安全で衛生的な住環境を維持するため、環境美化活動を推進する。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り

○昨年度から各委託事業所への訪問を行い、一層の関係構築が図れた。
○自治会等と連携して、ごみの分別、不法投棄ごみの回収や美化活動に努めたことにより、地域の公衆衛生の向上に寄与することができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	ごみ収集事業	—	—	—		693,810	594,410	14.0			0.5	
2	資源物処理事業	—	—	—		98,968	97,568				0.5	
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						792,778	691,978	14.0			1.0	

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 ごみ収集事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

家庭から排出されるごみを適正に収集運搬することにより、安全で清潔な生活環境の保全を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
		一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑫生産・消費									
事業とゴールの関連性	○廃棄物及び資源物の分別収集を指導徹底することにより、廃棄物の発生を抑制する。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	551,332	555,711	588,353	594,410		
	決算	551,069	553,493	588,148			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	551,069	553,493	588,148	594,410		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		106,400	99,400	99,400	99,400		
人工	正規	15.0	14.0	14.0	14.0		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.5	0.5	0.5	0.5		
年間経費(予算又は決算+A+B)		657,469	652,893	687,548	693,810		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
委託事業所への訪問及び確認(ごみ収集事業)(回以上)			目標	—	4	4	4	4	4
			実績	—	4	4			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- 家庭から排出されるごみの収集運搬業務を行う委託業者に対し、衛生的かつ適正に業務を行うよう指導徹底する。
 - ・対象区域: 西区、北区
- 各委託事業所に定期的に担当者が訪問して事業所の様子を確認するとともに、年1回以上所長が各委託事業所の責任者と直接会って情報共有を行った。



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- 四半期ごとに担当者が各委託事業所を訪問することにより、これまで以上にコミュニケーションを強化することができた。
- 所長と各委託事業所の責任者が面会することで現況や情報を共有することができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- 各委託事業所への訪問を定期的に行った。
- 自治会等と連携して、ごみの分別、不法投棄ごみの回収や美化活動に努めたことにより、地域の公衆衛生の向上に繋がった。
- 2020年度から、2人が天竜区の業務応援を行っている。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・2020年度から各委託事業所への訪問を行い、これまで以上の関係構築が図れたことから、2022年度は受託者とのコミュニケーションの充実、責任者による受託者の業務の質が担保されているかどうかの確認を強化することによって委託業務の品質保持に努める。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- 家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託の管理を行う。(西区、北区)
- 受託者とのコミュニケーションの充実、責任者による受託者の業務の質が担保されているかどうかの確認を強化することによって委託業務の品質保持に努める。
- 不当排出廃棄物のパトロール及び収集運搬を行う。

事業シート (事業名) 02 資源物処理事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

ごみ減量、資源の有効活用、環境への負荷軽減を推進するため、市民との協働による資源循環型社会の形成に取り組む。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
		一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑫生産・消費									
事業とゴールの関連性	資源物の適正処理を行うことにより、天然資源の合理的な利活用につなげる。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	90,046	95,491	96,788	97,568		
	決算	90,045	93,416	96,544			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	90,045	93,416	96,544	97,568		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)	1,400	1,400	1,400	1,400			
人工	正規						
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.5	0.5	0.5	0.5		
年間経費(予算又は決算+A+B)		91,445	94,816	97,944	98,968		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
委託事業所への訪問及び確認(資源物処理事業)(回以上)			目標	—	4	4	4	4	4
			実績	—	4	4			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- 家庭から排出されるペットボトル及びプラスチック製容器包装の中間処理を専門業者に委託し、資源物の適正処理を行った。
 - ・対象区域: 中区、西区、北区
- 家庭から排出されるびん類の中間処理を専門業者に委託し、資源物の適正処理を行った。
 - ・対象区域: 天竜区を除く区域
- 各委託事業所に定期的に担当者が訪問して事業所の様子を確認するとともに、年1回以上所長が各委託事業所の責任者と直接会って情報共有を行った。



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- 四半期ごとに担当者が各委託事業所を訪問することにより、これまで以上にコミュニケーションを強化することができた。
- 所長と各委託事業所の責任者が面会することで現況や情報を共有することができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- 各委託事業所への訪問を定期的に行った。
- 自治会等と連携して、ごみの分別、不法投棄ごみの回収や美化活動に努めたことにより、地域の公衆衛生の向上に繋がった。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・2020年度から各委託事業所への訪問をはじめ、これまで以上の関係構築が図れたことから、2022年度は受託者とのコミュニケーションの充実、責任者による受託者の業務の質が担保されているかどうかの確認を強化することによって委託業務の品質保持に努める。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- ペットボトルとプラスチック製容器包装等の中間処理業務委託の管理を行う。
- 受託者とのコミュニケーションの充実、責任者による受託者の業務の質が担保されているかどうかの確認を強化することによって委託業務の品質保持に努める。

政策シート 政策名 03 環境に配慮した資源循環型社会の構築

予算費目名 07 浜北環境事業所費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 04 環境・エネルギー

理想の姿 (30年後)	◆豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。
政策の柱 (10年後)	◆ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。 ◆再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

基本政策 01 環境と共生した持続可能な社会の実現

(2) 政策の概要(当年度(2022年度)実施内容)

一般廃棄物処理基本計画に基づき、浜北区内で発生する一般廃棄物(ごみ)の減量、分別収集を徹底し、衛生的に処理する。
また、不法投棄、集積所への不当排出廃棄物のパトロールや啓発活動を行い、安全かつ衛生的な地域環境を維持するための環境美化活動を推進する。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費							
-----	--------	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	308,362	312,056	320,524	323,761		
決算	304,988	309,729	319,552			
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	185,880	180,160	180,160	186,460		
年間経費(予算又は決算+A+B)	490,868	489,889	499,712	510,221		

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
受託事業者への訪問及び確認(ごみ収集事業)	回以上	目標	-	4	4	4	4	4
		実績	-	4	4			
受託事業者への訪問及び確認(資源物処理)	回以上	目標	-	4	4	4	4	4
		実績	-	4	4			
		目標						
		実績						

4 前年度(2021年度)政策評価

(1) 前年度(2021年度)実施内容

一般廃棄物処理基本計画に基づき、浜北区内で発生する一般廃棄物(ごみ)の減量、分別収集を徹底し、衛生的に処理する。
また、不法投棄、集積所への不当排出廃棄物のパトロールや啓発活動を行い、安全かつ衛生的な地域環境を維持するための環境美化活動を推進する。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
政策の概要に掲げる分別収集の徹底、衛生的な処理については、受託事業者の委託契約仕様書に基づく誠実な履行が欠かせない。それらの確認、検証等のため受託事業者へ訪問を年4回実施し、委託契約仕様書に照り、適正に業務が執行されていることを確認した。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	ごみ収集事業	—	—	—		427,734	273,474	19.7	1.9		3.4	
2	資源物処理事業	—	—	—		57,961	49,561	1.2				
3	浜北環境事業所運営経費(一般諸経費のみ)	—				24,526	726	3.2			0.5	
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						510,221	323,761	24.1	1.9		3.9	

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 ごみ収集事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

家庭から排出されるごみを、適正に収集運搬することにより、安全で清潔な生活環境の保全を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1974	—	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市	②生産・消費								
事業とゴールの関連性		適正なごみ収集、リサイクルの推進等が、廃棄物の発生を減少化させたり、環境上における悪影響の軽減に繋がる。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	263,818	266,227	270,059	273,474		
	決算	260,560	263,869	269,229			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	260,560	263,869	269,229	273,474		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		126,880	149,360	149,360	154,260		
人工	正規	17.8	19.0	19.0	19.7		
	再任用(31h)	0.4	1.9	1.9	1.9		
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.3	3.4	3.4	3.4		
年間経費(予算又は決算+A+B)		387,440	413,229	418,589	427,734		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
浜北区内の家庭系一般廃棄物の内、可燃・不燃ごみの区民一人1日あたりの排出量(g)			目標	420	—	—	—	—	—
			実績	487.8	—	—	—	—	—
受託事業者への訪問及び確認(ごみ収集事業)(回以上)			目標	—	4	4	4	4	4
			実績	—	4	4			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- ・浜北区の家庭から排出されるごみの効率的かつ衛生的な収集運搬
- ・不法投棄、集積所への不当排出廃棄物のパトロール及び収集運搬の実施
- ・ごみ集積所の適正管理
- ・ごみ収集運搬委託業務の管理



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

受託事業者へ年間4回の訪問を実施し、委託契約仕様書に基づく適格な業務が行われていたことを確認した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

市の委託する業務を行う受託事業者を見る市民の目は、市と同様に厳しいものがあるため、言動には十分な注意が必要である。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

職員が行っている連絡ごみの回収や排出者が自ら搬入するごみの受入業務、また、不法投棄、集積所への不当排出廃棄物のパトロール、ごみ集積所の管理についても、各々のマニュアルに従い効率的に業務運営を図ることができた。受託業者が実施した収集運搬業務も概ね順調であった。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

職員による直営の業務は、従来どおりマニュアルに沿った適切な業務を継続し、効率的、効果的な作業を心掛ける。収集運搬委託業務については、受託事業者への訪問を重ね、市民の信頼を得られる業務としての一層の定着を図っていく。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- 浜北区の家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託の管理を行う。
- 不法投棄、集積所への不当排出廃棄物のパトロール及び収集運搬を行う。

事業シート (事業名) 02 資源物処理事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

ごみ減量、資源の有効活用、環境への負荷軽減を推進するため、市民との協働による資源循環型社会の形成に取り組む。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1997	—	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市	⑫生産・消費								
事業とゴールの関連性		資源物の再利用事業により廃棄物の発生を削減できる。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	43,847	44,248	49,561	49,561		
	決算	43,846	44,245	49,561			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	43,846	44,245	49,561	49,561		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		35,200	7,000	7,000	8,400		
人工	正規	3.2	1.0	1.0	1.2		
	再任用(31h)	3.4					
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.2					
年間経費(予算又は決算+A+B)		79,046	51,245	56,561	57,961		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
みどりのリサイクル受入件数 (※ 2018年～)			目標	5500	—	—	—	—	—
			実績	5113	—	—	—	—	—
受託事業者への訪問及び確認(資 源物処理)(回以上)			目標	—	4	4	4	4	4
			実績	—	4	4			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- ・浜北区の家庭から排出される資源物の収集運搬
- ・スチール缶、アルミ缶等の売払い
- ・自己搬入される資源物の受入れ
- ・市民への資源物についての啓発
- ・資源物中間処理委託業務の管理



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

受託事業者へ年間4回の訪問を実施し、委託契約仕様書に基づく適格な業務が行われていたことを確認した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

プラスチック製容器包装ごみのリサイクルには、多くの関心が集まっているため、よりの確な業務処理が求められている。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

受託事業者が実施したプラスチック製容器包装、ペットボトルの資源物中間処理業務は、訪問時における確認等においても問題はなく、日本容器包装リサイクル協会の評価も高く順調であった。

また、家庭から排出され回収したスチール缶、アルミ缶量は、前年度より増加した。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

市民には、資源物としての排出啓発を継続し、中間処理委託業務については、受託事業者への訪問を重ね、市民の信頼を得られる業務としての一層の定着を図っていく。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

ペットボトルとプラスチック製容器包装等の中間処理業務委託の管理を行う。

事業シート (事業名) 03 浜北環境事業所運営経費(一般諸経費のみ)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

--

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

(3) 事業の位置付け

主要事業		※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略		(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	697	1,581	904	726		
	決算	582	1,615	762			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	582	1,615	762	726		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		23,800	23,800	23,800	23,800		
人工	正規	3.2	3.2	3.2	3.2		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.5	0.5	0.5	0.5		
年間経費(予算又は決算+A+B)		24,382	25,415	24,562	24,526		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

2022年度

分野

基本政策

政策

予算費目

所属コード

事業

(担当課)

(責任者)

(基準日)

04

01

03

07

001547000

03

浜北環境事業所

鈴木 敏

2022.7.1

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

--



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

--



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目

小項目

/

事業費

人工

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目

小項目

/

事業費

人工

7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)



--

政策シート 政策名 03 環境に配慮した資源循環型社会の構築

予算費目名 09 天竜環境事業所費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 04 環境・エネルギー

理想の姿 (30年後) ◆豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

政策の柱 (10年後) ◆ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
◆再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

基本政策 01 環境と共生した持続可能な社会の実現

(2) 政策の概要(当年度(2022年度)実施内容)

一般廃棄物処理基本計画により、市内で発生する一般廃棄物(ごみ)の減量、分別を徹底し、衛生的に収集運搬処理する。

(3) 関連するSDGsのゴール

①都市	⑫生産・消費							
-----	--------	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	314,956	309,743	307,760	312,336		
決算	310,707	307,270	307,017			
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	133,800	140,900	135,100	136,400		
年間経費(予算又は決算+A+B)	444,507	448,170	442,117	448,736		

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
委託事業所への訪問及び確認(ごみ収集事業)	回以上	目標	—	4	4	4	4	4
		実績		4	4			
委託事業所への訪問及び確認(資源物処理)	回以上	目標	—	4	4	4	4	4
		実績		4	4			
		目標						
		実績						

4 前年度(2021年度)政策評価

(1) 前年度(2021年度)実施内容

一般廃棄物処理基本計画により、市内で発生する一般廃棄物(ごみ)の減量、分別を徹底し、衛生的に収集運搬処理ができた。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り
市内で発生する一般廃棄物(ごみ)の減量、分別を徹底するように指導し、衛生的な収集運搬処理ができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	ごみ収集事業	—	—	—		415,539	292,859	12.4	6.0		5.1	
2	資源物処理事業	—	—	—		22,689	17,789	0.7				
3	天竜環境事業所運営経費(一般諸経費のみ)	—	—	—		10,508	1,688	0.9			0.9	
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						448,736	312,336	14.0	6.0		6.0	

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 ごみ収集事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

家庭から排出されるごみを、適正に収集運搬することにより、安全で清潔な生活環境の保全を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1970	—	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費								
事業とゴールの関連性		家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託の管理を行うとともに、家庭から排出されるごみを安全・衛生的に収集運搬することにより以下のゴールを目指す。 ・廃棄物の管理に特別な注意を払い環境上の悪影響を軽減する。 ・食料の廃棄を半減させ、食品ロスを減少させる。 ・廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	296,724	292,708	288,635	292,859		
	決算	292,786	290,403	288,220			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	292,786	290,403	288,220	292,859		
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	117,960	127,580	122,080	122,680		
人工	正規	13.2	13.1	12.2	12.4		
	再任用(31h)	7.1	8.8	7.0	6.0		
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		1.5	4.1	5.1		
年間経費(予算又は決算+A+B)		410,746	417,983	410,300	415,539		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
委託事業所への訪問及び確認(ごみ収集事業)(回以上)			目標		4	4	4	4	4
			実績		4	4			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- ・家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託(天竜区)業務の適切な管理を行った。
- ・天竜区佐久間地区、水窪地区の家庭から排出されるごみを、衛生的に適正に収集運搬を行った。
- ・不法投棄、不当排出廃棄物の収集運搬を行った。



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託の委託業者に対して、4回訪問調査を行い、仕様書に定められた業務内容どおりに適切に遂行していることを確認した。
- ・天竜区佐久間地区、水窪地区の家庭から排出されるごみを、安全に衛生的に収集運搬を行うことができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託の委託業者に対して、定期的に訪問調査を実施し、業務の遂行状況を確認した。
- ・職員を適正に配置し、直営収集業務の体制を維持するとともに平和清掃事業所及び浜北環境事業所から業務応援を受けた。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託の受託者の管理を適正に行う。
- ・直営収集業務の体制を維持(職員を適正に配置)していく。
- ・新清掃工場施設整備後の収集体制見直しを進めていく。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- ・家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託(天竜区)業務の委託業者への適切な指導を行う。
- ・天竜区佐久間地区、水窪地区の家庭から排出されるごみを、直営で収集運搬を行う。
- ・不法投棄、不当排出廃棄物の収集運搬を行う。
- ・新清掃工場施設整備後の収集体制見直しを進める。

事業シート (事業名) 02 資源物処理事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

ごみ減量、資源の有効活用、環境への負荷軽減を推進するため、市民との協働による資源循環型社会の形成に取り組む。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2005	—	一般会計	自治事務(法令義務)	容器包装リサイクル法

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市	②生産・消費								
事業とゴールの関連性		ペットボトルとプラスチック製容器包装等の中間処理業務委託の管理を行い、資源物の再商品化率を上げることにより再生利用や再利用ができ、廃棄物の発生を大幅に削減できる。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	15,577	15,719	17,758	17,789		
	決算	15,577	15,719	17,716			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	15,577	15,719	17,716	17,789		
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		9,520	7,000	6,300	4,900		
人工	正規	1.0	1.0	0.9	0.7		
	再任用(31h)	0.7					
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		25,097	22,719	24,016	22,689		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
委託事業所への訪問及び確認(資源物処理)(回以上)			目標	—	4	4	4	4	4
			実績	—	4	4			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

・ペットボトルとプラスチック製容器包装等の中間処理業務委託の委託業者への適切な指導を行った。

5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

・ペットボトルとプラスチック製容器包装等の中間処理業務委託の委託業者に対して、4回訪問調査を行い、仕様書に定められた業務内容どおりに適切に遂行していることを確認した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・ペットボトルとプラスチック製容器包装等の中間処理業務委託の委託業者に対して、定期的に訪問調査を実施し、業務の遂行状況を確認した。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・ペットボトルとプラスチック製容器包装等の中間処理業務委託の受託者の管理を適正に行う。
 ・ガラスびんの再資源化業務を専門業者に委託し、資源物の適正処理を行う。

7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

・ペットボトルとプラスチック製容器包装等の中間処理業務委託の委託業者への適切な指導を行う。
 ・ガラスびんの再資源化業務を専門業者に委託し、資源物の適正処理を行う。

事業シート (事業名) 03 天竜環境事業所運営経費(一般諸経費のみ)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

天竜環境事業所の業務を円滑に運営していく。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2005	—	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	2,655	1,316	1,367	1,688		
	決算	2,344	1,148	1,081			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	2,344	1,148	1,081	1,688		
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	6,320	6,320	6,720	8,820		
人工	正規	0.8	0.6	0.6	0.9		
	再任用(31h)	0.2	0.2				
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		0.5	0.9	0.9		
年間経費(予算又は決算+A+B)		8,664	7,468	7,801	10,508		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- ・予算、庶務等に関する一般的な事務の実施。
- ・周辺住民との連絡調整の実施。

5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)



(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)



(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)



- ・予算、庶務等に関する一般的な事務の実施。
- ・周辺住民との連絡調整の実施。